

病院薬剤師

病院薬剤師の業務範囲は年々広がり、その内容も高度化している。それだけの役割を担える職種として、病院や他の医療職種から認知されるようになってきた。病院によってその認知度に差が見られる現状とはいえ、以前に比べれば病院は、薬剤師が職能を存分に発揮できる職場環境に変貌している。

業務範囲が拡大かつ高度化

「調剤に明け暮れる日々だった」。40代以上の病院薬剤師に若い頃を振り返ってもらうと、概ねそんな答えが返ってくる。病院地下の薬剤部にこもって、朝から晩まで外来・入院患者の調剤をひたすらこなすのが、数十年前の一般的な姿だったという。

1990年代に本格化した医薬分業の進展に伴い、その状況は一変した。病院は院外処方せんの発行を推進し、外来患者の調剤は院外の薬局が担当するようになった。

その結果、これまで外来患者の調剤に費やされていた病院薬剤師の労力が浮いた。それを受け一部では病院薬剤師のリストラが行われたが、その一方で、浮いた労力を入院患者

に対する業務へと振り向ける動きが活発化した。病棟での薬剤師の活動が、診療報酬を得られる業務として88年に初めて認められた上、当初100点（1000円に相当）だった点数が段階的に引き上げられていったからだ。病院薬剤師は、病院の地下を出て病棟で活躍できる機会を得た。

病棟で薬剤師は、患者のもとへ足を運び、服用方法を説明したり、副作用の発現をチェックしたりする。カルテに目を通して検査値などを把握し、薬剤が的確に使用されているか、確認する。ナースステーショ

存在意義、ますます大きく

ドラッグストア業界

小売（物販）業界ではホームセンター大手が経営統合するなど、ここ数年、再編の動きが目立っている。小売業の中で急速に成長してきたドラッグストア業界も同様で、有力大手企業が引き続き積極的な店舗拡大を図る一方で、業務提携・買収等によるグループ化が進んできている。

今後も加速するグループ化

一昨年はライフオートとジップ・ホールディングスが経営統合し、アライドハーツ・ホールディングスが発足。昨年10月からは最大手のマツモトキヨシも「マツモトキヨシホールディングス」として持ち株会社制に移行した。北海道・東北で積極展開しているツルハホールディングスは、関東での店舗網拡充に向け、昨年5月にくすりの福太郎を完全子会社化した。

CFSコーポレーションは昨年10月、調剤薬局大手のアインファーマシーズと持ち株会社方式で今春経営統合することを発表。さらに4月には、セガミメディクスとセイジョーの上場大手同士が共同持ち株会社「ココカラファインホールディングス」を設立して、経営

統合する。

中部エリアを中心に関西で展開するスギ薬局は、関東出店を進めてきたが、昨年秋には北関東の飯塚薬品を子会社化した。富士薬品は買収・提携により各地の中堅企業を取り込み、グループドラッグとしての売上高はマツキヨグループに追隨する規模だ。昨年秋には東京多摩地区のドラッグストアバイゴーを買収したが、今後もグループ拡大を図る考えだ。

大手各社が持ち株会社制を進めるのは、M&A（企業の合併・買収）の推進が目的。また、グループ化による拡大戦略は、商品仕入れ・開発などでスケールメリットを生かし、経営効率化につなげるためだ。しかし一方で、

成長への鍵は「専門性の発揮」

ンにも出入りし、看護師や医師と患者情報などをやりとりする。

頻繁に顔を見せるうちに他職種との連携が密になり、薬に関する様々な相談が持ち込まれる。それに応じる中で医療の担い手として頼られる存在になっていく。そんな姿が各地の病院で定着しつつある。

各専門領域での役割も強く求められるようになってきた。感染対策、栄養サポート、褥瘡、緩和ケアなど院内に設置されている各種専門委員会には、薬剤師が委員の1人として加わり、病院全体の対策を考案したり、各診療科の壁を越えた回診を行ったりしている。

こうした背景のもと、業務実績や試験、論文発表数をもとに、各専門分野の知識や技能を評価し「認定薬剤師」「専門薬剤師」として認定する制度が、日本病院薬剤師会によって構築されている。がん薬物療法、感染制御に続き、08年度からは精神科薬物療法の認定が本格的に始まる。今後はHIV感染症、妊婦・授乳婦薬物療法などでの認定も予定されている。

多店舗化すれば競合激化の中で生き残りが図れるとは限らない。地域によってはドラッグストア飽和状態も珍しくない。

健康志向が高まる中で、価格競争には限界がある。消費者へのアピールだけでなく、薬剤師の雇用につなげるためにも、他社との差別化が求められる。ここにきて、いくつかのドラッグストアで顕著な傾向が現れてきた。その一つが調剤事業の強化で、異業種との差別化も視野に、調剤併設店舗に多くの企業が注力している。

また、介護用品を取り揃えるだけでなく、介護福祉士など専門資格を持つ従業員が常駐した介護コーナーを設けたり、在宅介護の相談に力を入れるケースも見られる。急速に進む高齢化社会を睨み、介護分野での事業展開を強化する企業が増えつつある。

薬剤師のほか、栄養士が生活改善や食生活の指導を行うなど、専門知識を生かしたカウンセリング販売の強化も差別化には欠かせない要素だ。ドラッグストアが真に地域医療の一翼を担う存在となるには、今後は単に企業規模ではなく、健康と美に関する情報発信機能をいかに打ち出せるかが鍵といえる。

業界の話題



勤務地域、職種、
そして配属先店舗形態。
あなたのご希望を、
教えてください。



■ 薬剤師(新卒・中途)募集中!

株式会社マツモトキヨシ 人事部採用課
〒270-8501 千葉県松戸市新松戸東9-1

【採用直通】047-347-6800

【学生専用フリーダイヤル】0120-047-300

ホームページ <http://www.r-matsukiyo.com/>